

# カトリック河原町教会だより

2022年5・6月

## 教皇フランシスコ 2022年5月25日「一般謁見演説」でのことば（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹のみなさん、おはようございます。

老齡期についての考察の中で今日はコヘレトの言葉、書について考えてみましょう。一読すると、この短いコヘレトの言葉は印象的で、次の有名な繰り返される言葉は、読む人を当惑させます。「すべては空しい」。このすべては空しいという言葉は繰り返し使われます。すべては空しく、すべては「もやで覆われ」、すべては「実質がなく」、すべては「空虚」である、と。聖書で、存在の意味を疑問視する表現を見つけるのは驚くべきことです。そして、コヘレトの言葉の終わりには、この試練から抜け出す方法を指し示しています。「神を畏れ、その戒めを守れ」(12・13)。これが、問題解決のためのアドバイスです。次のような疑問がわたしたちの中に生まれます。わたしたちの努力は世界を変えたのか？ 公正と不公正の違いを立証できる人はいるのか？ すべては無駄なことのように見える…。なぜそんなに努力をするのか？ 人生のどの時期にでも、ネガティブな直観というものが現れます。しかし、高齡になると、幻滅する経験はほぼ避けがたいものとなることは疑いの余地がありません。この幻滅による自信喪失への高齡者の抵抗は、決定的なものです。この時までにはそれを経験してきた高齡者が、正義への情熱を保ち続けるなら、愛と信仰への希望があります。最古のキリスト教の伝統の修道者たちは、まさにこの魂の病を突き止めていたのです。それは、信仰や道德規範のない知識の空しさ、正義のない真理の幻想を突然見出してしまうという病です。実際、わたしたちの発展と繁栄がありながら、わたしたちは「疲労の社会」となっていました。わたしたちは広く幸福を生み出したとされてきましたが、健康に関して、科学的に選択的な市場を黙認しているのです。平和のために越えられない基準をつくったとされてきましたが、無防備な人々に対する無慈悲な戦争がますます増えています。もちろん、科学の発展はよいことです。わたしたちの時代が、フェイクニュース、集团的迷信、偽物の科学的真実の時代であることは偶然の一致ではありません。知恵とユーモアに富む高齡者は、若者たちにとっても良い影響を与えます。高齡者たちは若者たちを、陰気でいのちの知恵に欠けた、この世の知識の誘惑から守るのです。そして、この高齡者たちはまた、若者たちをイエスの約束へと連れ戻します。「義に飢え渴く人々は、幸いである、その人たちは満たされる」(マタイ5・6)。高齡者たちこそが、若者たちの中に、正義への飢えと渴望を植え付けることができるのです。わたしたち高齡者は、勇気を持ちましょう。勇気を出して、前進しましょう。この世でとても大きな使命があるのです。

教会の様子(インスタグラムより)





## 戦争の終結と世界の平和を祈りましょう

洛東ブロック担当司祭 菅原友明

ウクライナでの戦争が始まって3か月にもなってしまいました。世界が戦争モードに入ったのを否応なく感じ、今まで漠然と信頼していた何かが崩れていくのも感じます。これまでも世界のどこかで常に戦争があり、報道もされていたのだから、自らの無関心を強く反省しますが、でも、今回のような軍事侵攻が公然と行われたのは、私にとって想定外だったのも事実で、ロシアがウクライナ国境に軍を集結させていると報じられても楽観していたほどです。

何だかんだ言っても国際社会の平和尊重の基盤は強固なのだから、滅多なことで戦争なんか起こるわけないさと、世間知らずにおめでたくも、私は暗示をかけられていたのです。ひとたびこの暗示が解けると、次々と恐ろしい現実が見えてきてしまいます。報道されてくる悲惨で残虐な行為の数々は、人間に対して抱いてきた根本的な信頼を揺るがすに余りあって、私のような非力な人間が今まで当たり前のように平和に安心して暮らして来られたことが途方もない奇跡に思えてくるほどです。

また、ウクライナがどこにあるのかすら知らなかった私達の多くが、当初は大きな衝撃を受け、熱い支援の気持ちに沸いていたのに、月日の経過とともにこれもノーマルとなりつつあるし、あるいは興味本位のエンタメ的な伝えられ方さえされていて、タレントが笑い話にしながら戦争を語っているのを見ると、違和感を越えて恐ろしさを感じ、人間とはこういうものだったのかと、ますます自分がうぶで苦勞知らずのおめでたい人間に過ぎなかったのだと思い知らされます。

さらには、もはや戦争時代に突入したのだ、いよいよ戦争ができるぞ、というような、過去の時代のノーマルへ人々の心がにわかに里帰りしているのも確実に察知できるし、また、戦争で自分の命を犠牲にして戦うことは常に美德でもあり魅力でもあったわけだし、友のために自分の命を捨てるというキリスト教的犠牲ともどこかでは通じ合うのだろうし、教会だって平和を言い出したのはつい最近のことで、実は教会こそ率先して戦争をやってきたという、見ないことにしておいた事実も突き付けられるわけで、とにかく、人間とは何か、今まで拠り所としていたものは何だったのか、根本からわからなくなってしまいました。

そんな中で、教皇様の次の言葉が心に何かを目覚めさせてくれました。「キリストはもう一度、十字架に釘付けにされます。夫や息子たちの不条理な死を悼む母たちのうちに。子供たちを腕に抱いて爆撃から逃れる避難民のうちに。一人で捨て置かれ死んでいく高齢者たちのうちに。未来を奪われた若者たちのうちに。兄弟姉妹たちを殺す兵士たちのうちに」(カトリック新聞 4月24日号)。理屈で考えるとわからなくなりますが、それでも平和を大切にする、戦争をしない、それこそをノーマルにし続ける、それは、キリストの痛み、そして、私達のはらわたの痛みこそが、何かを的確に訴えかけているに違いないからです。

そして、今こそ、祈るときです。「祈りなんか意味がない」と思っている人が祈らないのならともかく、私たちは祈りの力をちゃんと知っているのですから。今こそ、心を合わせて、戦争の終結と世界の平和を祈りましょう。





## 聖週間のアルバム

### 聖香油ミサ(非公開)



聖木曜日(主の晩さん)



聖金曜日(主の受難)



復活の聖なる徹夜祭



復活の主日(日中のミサ)



### 初聖体のミサの様子

4月24日 10:30 から菅原神父様司式により初聖体のミサが執り行われました。





2022年6月～8月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
6	5	日	聖霊降臨の主日
	12	日	三位一体の主日(年間第11週)
	19	日	キリストの聖体(年間第12週)
	24	金	イエスのみ心
	26	日	[年間第13主日] 聖ペトロ使徒座への献金 10:30 ミサ 大塚司教司教叙階銀祝・霊名のお祝い・ 京都チェジュ教区交流月間祈願意向
	29	水	聖ペトロ聖パウロ使徒
7	3	日	[年間第14主日]
	10	日	[年間第15主日]
	17	日	[年間第16主日]
	23	土	Sr.テッシー霊名のお祝い 18:30 集会祭儀
	24	日	[年間第17主日]
8	31	日	[年間第18主日] 10:30 ミサ 故田中健一名誉司教 様一年祭の祈り
	6	土	主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
	7	日	[年間第19主日]
	8-10	月-水	土曜学校錬成会
	14	日	[年間第20主日]
	15	月	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
21	日	[年間第21主日]	
28	日	[年間第22主日] Sr.ロサ霊名お祝 10:30 集会祭儀	

**お知らせ** (敬称略)

## ◆洗礼・堅信 おめでとうございます

2022. 4.16 シエナのカタリナ 山下 絵理 4.16 マリア・マグダレナ 片木 恵理  
 2022. 4.16 ジュリア・ピリアート 瀬川 一枝 4.16 ルトガルディス 松川 紘子  
 2022. 4.16 フェルナンド フェルナンド・ナオキ 4.16 フランシスコ 武川 直也  
 2022. 4.16 ラファエル 梁瀬 優希 4.16 ジャンヌ・ダルク 森 はずき

## ◆堅信 おめでとうございます(転会者)

2022. 4.16 ヨハネパウロ二世 小澤 弘 2022. 4.16 ペトロ・ロレンソ 秋元 幸久

## ◆転入 ようこそ河原町教会へ

2022. 5.2 マルガリタ・マリア 大野 典子

## ◆転出 どうぞお元気で

2022. 4.8 マリア・クララ 平出 節子 2022.4.8 ミカエル 平出 惇人  
 2022. 4.8 小さき花のマリアテレジア 平出 安里 4.8 聖母マリア 平出 まりあ  
 2022. 4.13 ビンゲンのヒルデガルト 神田 愛子 4.27 カルロ・スピノラ 小杉 真

## ◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2022. 4.10 アンナ・マリア 川端 富子 2022. 4.22 アンナ 小杉 美奈

## ◆初聖体 おめでとうございます

2022. 4.24 シエナのカタリナ 栗原 紗生

**主日ミサ(集会祭儀)の時間**

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、  
12:00(英語・第2第4のみ)**週日のミサの時間**

7月より、水曜日 9:30

最新の情報はウェブサイト  
でご確認下さい。**講座の時間(休講の日も有り)**

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座  
土曜日 11:00(菅原神父)**一般向け**キリスト教入門講座  
金曜日 19:00(瀧野神父)  
「キリスト教の輪郭」キリスト教入門講座  
土曜日 16:00  
(Sr.テッシーのチーム)  
「キリスト教とは何か」**養成講座(信徒・一般向け)**読書会  
「カトリック教会の教え」読書会  
水曜日 10:00(瀧野神父)要理通読会  
「カトリック教会のカテキズム  
要約」の通読  
木曜日 11:30(菅原神父)みんなの集い  
土曜日 15:00(菅原神父)「ヘブライ人への手紙」を読む  
第1土曜日 19:10(菅原神父)「これから洗礼を受けられる方  
向け」は事務室か  
rakuto.nyumon.class@gmail.co  
m まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2022.5・6 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>